

女子大生の下着に対する認識状況

原田 妙子

The State of Knowledge of Women University Students about Underwear Items

Taeko HARADA

緒 言

日本人の女性が洋服着用の習慣を身に付けてから100年余りが経過しているが、その中で下着は「洋服の下の道具」から「かくすもの、押さえつけるもの」へと変化し、更に戦後からの目覚ましいライフスタイルの変化に伴い、女性のおしゃれへの関心が高まった。それと同時に下着に対する考え方も「機能性を重視した洋服の下の見えないもの」から、「楽しむもの」へと変化してきている¹⁾。

現在では、下着のファッション化が一段と進められ、デザインや形は言うに及ばず、種類においても下着メーカーにより新製品の開発が盛んに行われ、多くの商品が市場に溢れている。消費者にとっては店頭での購入の他に、実際品物を手にすることなく、視覚のみの判断で購入できる通信販売などを利用する機会も多くなっている。更にそれらの情報は、テレビのコマーシャルやポスター・カタログ、下着の専門雑誌等により次々と紹介されおり、しかも、一方的に提供されるものが多く、この多様化した下着が果たして消費者にとって正しい認識の下で購入され、着用されているかは、疑問とするところである。そこで本研究では、ファッション等の情報に敏感な女子大生を対象に、下着の名称と形態とがどの程度認識されているかを把握することを目的とし調査検討を行った。

方 法

1. 調査対象および調査時期と調査方法

調査対象は女子大生310名である。内訳は、服装関係を専門に学んでいる女子大生1年生68名、2年生72名、服装以外を専攻する女子大生1年生69名、2年生101名であり、それぞれをグループA、B、C、Dとした。

調査は、解答時間を約30分間とし、平成5年11月に集合調査法で実施した。

2. 調査内容

女性用下着は、体の基礎の形を整えるファンデーション（補正着）と、保温、吸汗等、生理衛生に関係のあるアンダーウェア（肌着）と、下着の中では最も上位に着るいわば仕上げに該当するランジェリー（装飾下着）に大別される²⁾が、本報では、それらを6種類に分類し、ファンデーションからガードル類11品目、ブラジャー類10品目を、アンダーウェアからショー

ツ類9品目を、ランジェリー類からスリッパ類9品目、ベチコート類(上下つなぎを含む)8品目を、それらにソックス類3品目を加え、合計50品目の下着を、それらが掲載されている通信販売用カタログ(セシル、ニッセン、シムリー、ベルーナ)と服飾辞典³⁾および下田氏による解説文⁴⁾等から選出した。

次にそれぞれの掲載資料を参考にし、選出した下着50品目を、出来る限り単純に特徴を捕らえ線画でスケッチし、1~50までの番号を付けた。更にそれらの名称をランダムに並び替え、図1のような調査表を作成し、対象とした女子大生に、その名称にあてはまるスケッチを解答させ、その結果の単純集計、およびクロス集計を行い検討した。

結果および考察

1. 正解・不正解・未記入の数

50問の解答欄には、記入されている箇所と記入されていない箇所があり、更に記入されている箇所については、その解答が「正しい」・「正しくない」の2通りに分かれる。つまり、解答は正解・不正解・未記入の3通りになる。そこで、それらの解釈として、正解の箇所は名称と形態が正しく把握されているものであり、未記入の箇所は名称を見ても形態を特定することが全くできない者であるといえる。しかし、解答が間違っている学生については、正確な把握はできていないが、ある程度の想像はできるため類似の形態を解答した者と、全くの当て推量で違う答えを記入した者の2通りがあり、その数は前者がかなり多いという結果であった。

そこでまず、50問中の正解数、不正解数、未記入数を見ると、全体の平均値は正解数で25.7個と約50%を占めており、不正解数は10.4個、未記入数は13.9個であった。(表1)

次に、グループごとに見ると、正解数については、1年生であるAグループとCグループが約22個で44%の正解率を示したのに対して、2年生のBグループ、Dグループとも50問中28問以上の正解であり正解率は56%を越え、専攻に関係なく2年生の方が高い値を示した。未記入数については、服装関係を専門に学んで2年目のBグループで9.7個と他のグループに比べ低い値となっており、全く想像がつかないという学生が少なくなっている。不正解数については、グループ間にも差は認められなかった。

図2は正解数、不正解数、未記入数での2項目間の散布図である。全体での正解数の最大値は42個、最小値は2個であり、正解数0という学生はいなかったが、個人差は大きいといえる。グループごとでは、Aグループが最大42個、最小2個、Bグループは40個と5個、Cグループは39個と6個、Dグループは42個と3個で、グループ間での差は認められず、認識の高い学生は、どのグループにも含まれていると見られた。不正解数では、最大が全体で36個であり、グループごとに見るとA、B、C、Dでそれぞれ32、24、36、26個と、1年生に比べて2年生が少なくなっている。また、未記入については、全体での最大値が48個であり、Aグループに属している学生であった。

更にそれぞれの相関係数を見ると、正解数と不正解数の間では-0.0166、正解数と未記入数では-0.8359、不正解数と未記入数では-0.5350となり、正解数と未記入数、不正解数と未記入数に有意水準1%で有意な結果が得られており、正解数と不正解数には関係は認められなかった。

2. 各種下着の認識状況

次に、各種下着の知名度を調べるために、学生の正解率、不正解率、未記入率を50品目ごとに図3に示した。

次の用語にあてはまる物を、□の中から選び、()に番号で答えて下さい。

- | | | | |
|------------------|-----|--------------------|-----|
| 1. スタンダードショーツ | () | 2. チューブブラ | () |
| 3. ウインタム | () | 4. ビスチェ | () |
| 5. スポーツブラ (Tブラ) | () | 6. タンガ | () |
| 7. スタンダードガードル | () | 8. ロングガードル | () |
| 9. オーバーニーソックス | () | 10. レッグウォーマー | () |
| 11. ハイレグショーツ | () | 12. ソフトブラ | () |
| 13. ショートガードル | () | 14. フルカップブラジャー | () |
| 15. 袖付きスリッパ | () | 16. シュミーズ | () |
| 17. ロングブラ | () | 18. ストラップレスブラ | () |
| 19. ボディープリファァ | () | 20. Tバックショーツ | () |
| 21. フィットペチコート | () | 22. ガーターベルト | () |
| 23. ハーフカップブラジャー | () | 24. ハイソックス | () |
| 25. フィットペチコート股付き | () | 26. 3/4カップブラジャー | () |
| 27. ロングショーツ | () | 28. ボディシェイパー | () |
| 29. フロントホックブラ | () | 30. キュロットペチコート | () |
| 31. ビキニショーツ | () | 32. シェイプパンツ | () |
| 33. ペチコート | () | 34. フレアパンティー | () |
| 35. ラウンドスリッパ | () | 36. ストラップスリッパ | () |
| 37. プラスリッパ | () | 38. ハイウエストショートガードル | () |
| 39. タミーガードル | () | 40. ウエストニッパー | () |
| 41. ハイレグガードル | () | 42. オールインワン | () |
| 43. テディー | () | 44. ボ디スーツ | () |
| 45. タップパンツ | () | 46. 切り替えスリッパ | () |
| 47. キャミソール | () | 48. インナーシャツ | () |
| 49. フレアショーツ | () | 50. ガードルショーツ | () |

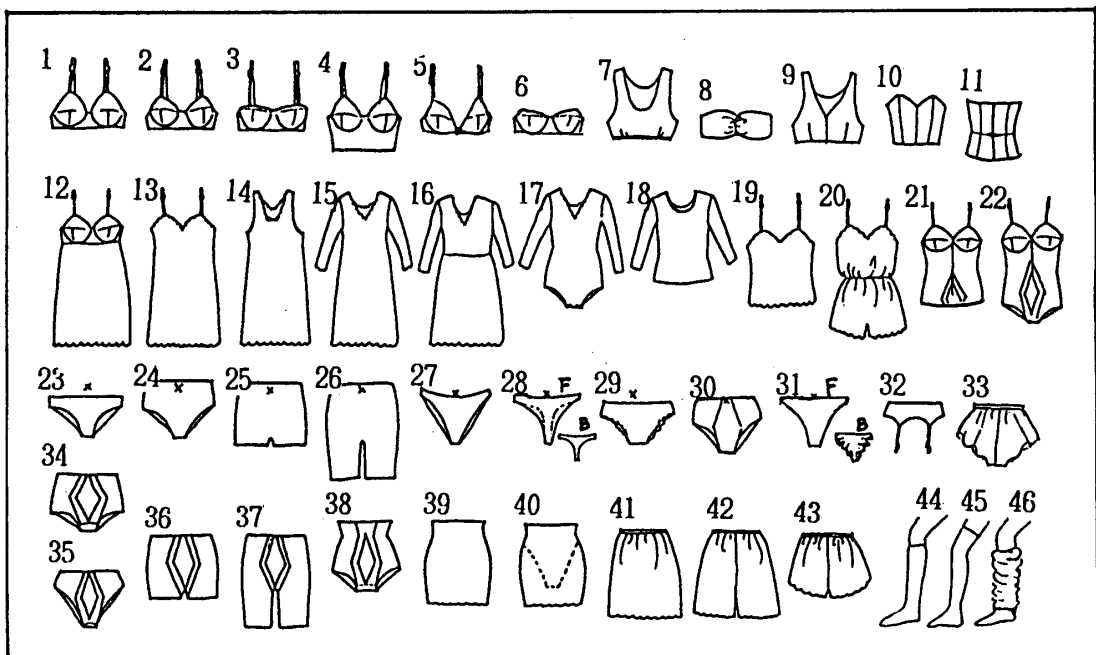


図1 調査用紙

表1 正解数・不正解数・未記入数の平均値一覧表

項目	全 体		A		B		C		D	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
正 解 数	25.7	8.8	22.1	8.9	28.4	7.7	22.3	8.3	28.5	8.2
不正解数	10.4	5.7	10.7	6.3	11.8	5.3	10.2	5.6	9.2	5.4
未 記 入	13.9	10.5	17.2	11.5	9.7	9.2	17.5	10.1	12.3	9.3

単位 (個)

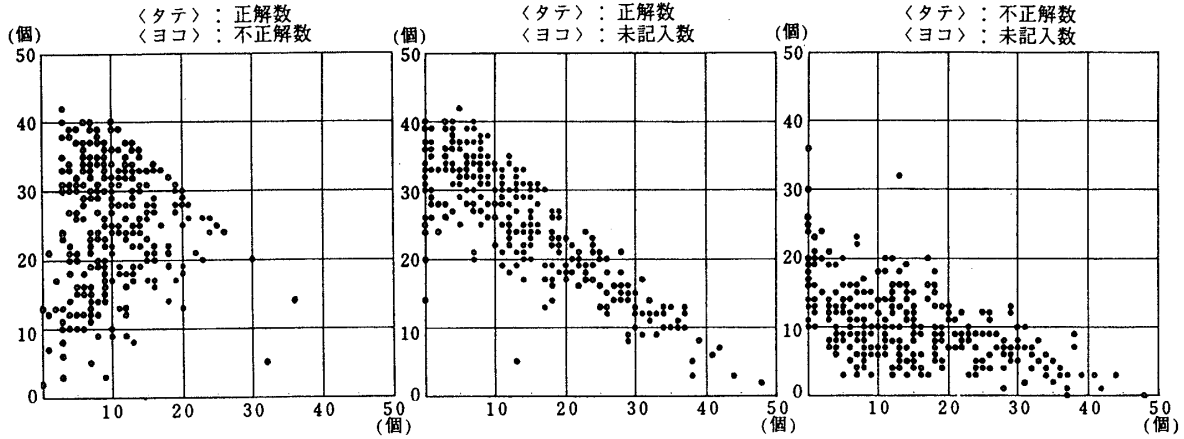


図2 散布図 (正解数・不正解数・未記入数)

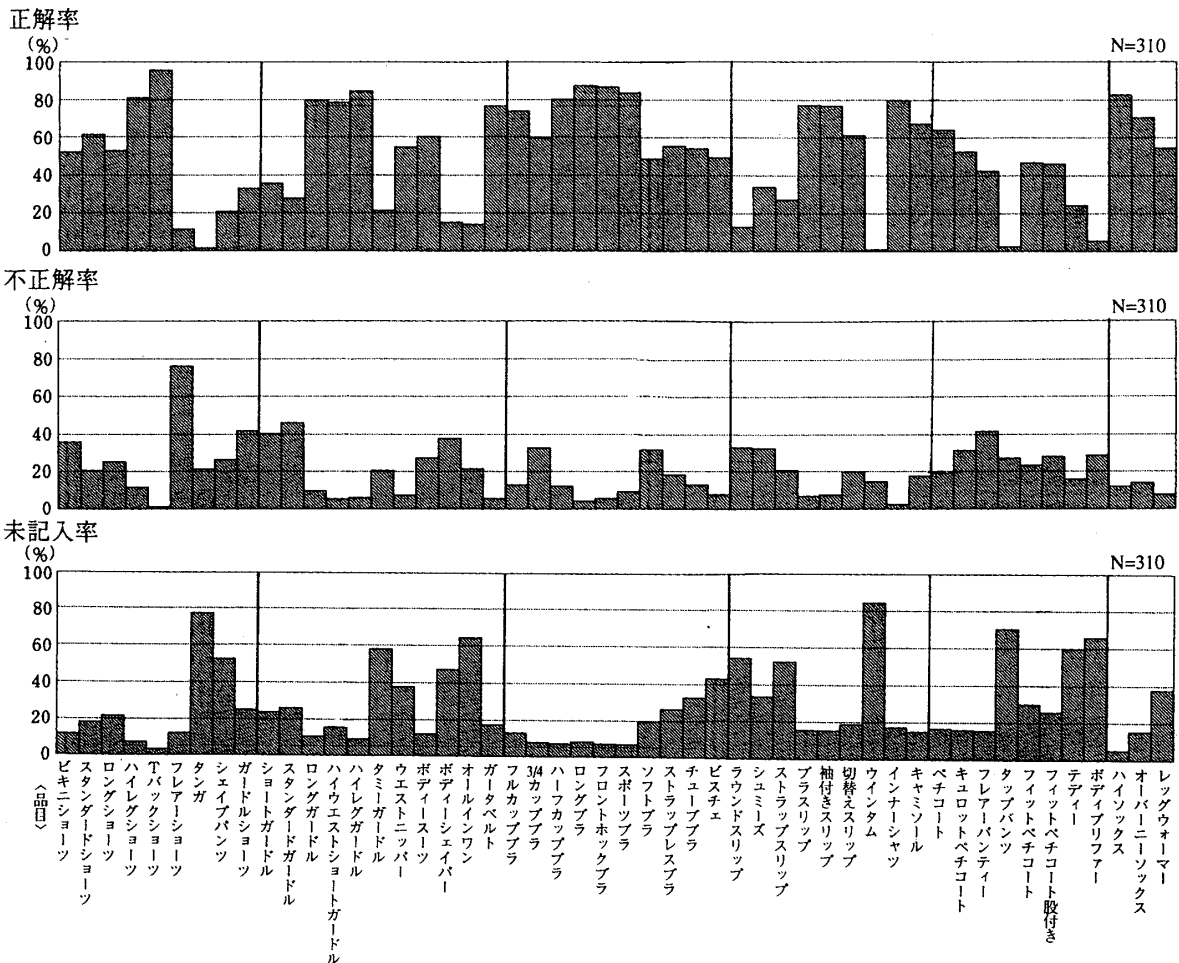


図3 下着品目別 正解率・不正解率・未記入率

6種類の下着における正解率の平均値は、それぞれショーツ類で45.6%、ガードル類で49.9%、ブラジャー類で67.9%、スリッパ類で48.7%、ペチコート類で35.6%、ソックス類で69.3%という結果であり、ブラジャーとソックス類で高い値を示した。また、ペチコート類では逆に正解率は学生数の約1/3しかなく低い値であった。

それぞれの品目ごとに見ると、ショーツ類では、Tバックショーツが95.5%と50品目中最も高い値を示し、ハイレグショーツが81.0%と続き、比較的新しく出た形態であるにもかかわらず情報として耳や目に入る機会が多いと思われるショーツの知名度が高く、逆にタンガが1.6%、次いでフレアショーツが11.6%とかなり低く、最近出現した形態のショーツについては、まだまだ認識の浅さが感じられた。

ガードル類では、ハイレグガードルが84.5%、ロングガードルが79.7%、ハイウエストガードルが78.7%、ガーターベルトが76.8%と高い値を示したが、従来からあるにもかかわらずオールインワンが14.2%、タミーガードルが21.3%と低く、ボディーシェイパーも比較的新しいためか15.2%と低い値を示した。

ブラジャー類では、ロングブラが87.4%、フロントホックブラが86.8%、スポーツブラが83.5%、ハーフカップブラが80.3%、フルカップブラが73.9%と高く、その他のものについても、ソフトブラとビスチェが半数をやや下回るだけで、50%以上の学生に認識されていた。

スリッパ類については、インナーシャツが80.0%、ブラスリッパが77.4%、袖付きスリッパが77.1%と高い値を示したが、袖付きスリッパの別名でもあるウインタムについてはかなり以前から着用されていたにもかかわらず、わずか1.0%であり、50品目中最低であった。また、ラウンドスリッパが12.9%、ストラップスリッパが27.1%と低く、袖のないものについては、細かい区別をせず、スリッパと総称して認識していると思われる。

ペチコート類では、タップパンツが2.6%と低く、同じ形態であるフレアパンティは42.6%であった。また、上下が続いているテディーやボディーブリッファーなど比較的新しいものについてもそれぞれ24.2%、5.5%と低い値であり、ペチコート類は、どの品目も低い傾向にあった。

ソックス類はハイソックスが82.9%と高く、若い層で最近再び流行し始めているオーバーニーソックスも70.6%と高くなっている。

次に未記入率について見ると、正解率が高かった品目では、未記入率は高くともインナーシャツで17.4%しかなく、その他はそれ以下の値を示し低くなっている。また、これらは不正解率においても同様で、オーバーニーソックスの13.9%を先頭に残りも全てそれ以下となっている。ブラジャー類については、先に述べたように全く想像もできないという学生はほとんどいなかった。

逆に、未記入の学生が多かった品目について見ると、ウインタムが84.5%で50品目の中で最高の値を示している。また、タンガが77.1%、タップパンツが70.3%と高く、これらは正解率が低い上位3品目と一致している。また、50%以上が未記入であった品目は、ショーツ類ではシェイプパンツが52.5%、ガードル類ではオールインワンが64.2%とタミーガードルが58.1%、スリッパ類ではラウンドスリッパが54.2%、ストラップスリッパが52.3%、ペチコート類ではボディーブリッファーが65.8%、テディーが60.0%となっており、全て正解者数も少なく、ウインタム、タンガ、タップパンツを筆頭にかなり知名度が低いといえる。

しかし、フレアショーツ、ガードルショーツ、ショートガードル、スタンダードガードルについては正解率が低いにもかかわらず、未記入率もそれほど高い値を示しておらず、それに代わって不正解率がかなり高い値を示している。特にフレアショーツでは76.1%と他に比べ

て1品目だけが非常に高いという結果であった。また、正解率が50%近くあったビキニショーツ、3/4カップブラ、ソフトブラ、キュロットペチコート、フレアーパンティについても同様に、不正解率は30%以上であり、未記入率を上回っている。

そこで、未記入率より不正解率が高かった品目において、記入された解答を検討することから、より正確な認識状況の把握ができると考え検討を行った。文中の%値は、それぞれの不正解数に対する割合を用いた。

まず、最も記入された解答に誤りが多かったフレアーショーツでは、フレアーパンティーと答えた学生が不正解者の87.3%と多く、他にヒップを全く包まないタンガ⁵⁾と答えた者も多かった。また、フレアーパンティーについては、逆に37.2%の学生がフレアーショーツを答えており、タンガと答えた学生も59.7%と多く、この3品目に対する認識がかなり煩雑になされているといえる。キュロットペチコートについても、フレアーパンティと答えた学生が66.0%おり、テディーと21.6%の学生が誤って解答している。

ビキニショーツに対しては、ハイレグショーツに36.9%、タンガに27.0%、フレアーショーツに22.5%と被覆面積の小さいものとの誤りが多かった。

ショーツガードルに対する解答では、スタンダードガードルが52.0%、ハイレグガードルが32.2%となっており、逆にスタンダードガードルでは、ショーツガードルと答えた学生が78.3%であった。これは、スタンダードの意味が正確に捕らえられていないためと考えられる。

ガードルショーツについては、線画のスケッチとの対応のためか、ショーツガードルと答えた学生が45.4%、ハイレグガードル、スタンダードガードルがそれぞれ19.2%、15.4%であったが、スタンダードショーツと答えた者も13.1%あった。

ブラジャーでは、3/4カップブラに対して、ハーフカップブラと答えた学生が64.2%あり、カップの大きさを正確に把握できていない。また、ストラップレスブラが19.8%、フロントホックブラも14.9%あった。ソフトブラについては、3/4カップブラとフルカップブラで55.5%の解答となり、スケッチのための誤解答とも考えられるが、それとは別にチューブブラと答えた者も24.2%あった。

ボディシェイパーは、ボディースーツを下腹部のあたりでカットしたもの⁵⁾であるが、ボディースーツと答えた学生が41.9%と多く、他にウエストニッパーが24.8%、ボディブリファァーが10.3%と、名称から推定したと考えられる解答が多いという結果であった。

ラウンドスリップについては、先にも述べたように、未記入でわからない学生が多かったが、ストラップスリップと解答した者は不正解者の52.5%もあった。また、シュミーズでは、正解、不正解、未記入共全体のほぼ1/3ずつであったが、不正解者の中では、52.5%と半数の学生がストラップスリップと誤って解答している。

このように、名称の認識が正しくなされている下着があるものの、正確に判断するだけの知識が不足していたり、お互いの意味を取り違えて認識しているものもかなり多いといえる。

3. クロス集計結果

更に下着50品目のそれぞれについて、調査対象者のグループごとに集計した正解率、不正解率、未記入率を表2に示した。

ショーツ類においては、正解率が非常に高いTバックショーツと、逆に非常に低いタンガやフレアーショーツでのグループ間の差はほとんど見られない。ガードルショーツでは、Dグループが46.5%と他のグループよりも高い正解率を示しており、有意水準1%で有意な差が見られたが、その他の品目については、2年生であるBとDグループが1年生A、Cグループに比較

表2 グループ別 正解率・不正解率・未記入率

種類	下着品目	正解率				χ ² 検定	不正解率				χ ² 検定	未記入率				χ ² 検定
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
		68	72	69	101		68	72	69	101		68	72	69	101	
ショーツ類	31 ビキニショーツ	47.1	58.3	34.8	63.4	**	42.6	33.3	43.5	27.7		10.3	8.4	21.7	8.9	*
	1 スタンダードショーツ	55.9	65.2	52.2	68.3		19.1	16.7	27.5	19.8		25.0	18.1	20.3	11.9	
	27 ロングショーツ	48.5	68.1	37.7	55.4	*	20.6	22.2	27.5	29.7		30.9	9.7	34.8	14.9	**
	11 ハイレグショーツ	77.9	84.7	75.4	84.2		11.8	13.9	11.6	9.9		10.3	1.4	13.0	5.9	*
	20 Tバックショーツ	91.2	98.6	95.7	96.0		2.9	0	0	2.0		5.9	1.4	4.3	2.0	
	49 フレアショーツ	13.2	8.3	14.5	10.9		69.1	88.9	63.8	80.2		17.7	2.8	21.7	8.9	**
	6 タンガ	1.5	4.2	0	1.0		16.2	31.9	21.7	16.8		82.3	63.9	78.3	82.2	
	32 シェイプパンツ	17.6	25.0	17.4	22.8		22.1	37.5	20.3	25.7		60.3	37.5	62.3	51.5	
	50 ガードルショーツ	30.9	27.8	20.3	46.5	**	33.9	52.8	49.3	30.7		29.4	19.4	30.4	22.8	
	ガードル類	13 ショートガードル	39.7	37.5	24.6	39.6		38.2	40.3	39.1	42.6		22.1	22.2	36.3	17.8
7 スタンダードガードル		25.0	29.2	21.7	32.7		38.2	48.6	47.8	48.5		36.8	22.2	30.5	18.8	
8 ロングガードル		73.6	86.1	71.0	85.1		13.2	8.3	8.7	8.9		13.2	5.6	20.3	6.0	**
38 ハイウエストショートガードル		73.5	83.3	71.0	84.2		5.9	6.9	5.8	4.0		20.6	9.8	23.2	11.8	*
41 ハイレグガードル		75.0	88.8	82.6	89.1		10.3	5.6	7.2	3.0		14.7	5.6	10.2	7.9	
39 タミーガードル		14.7	26.4	15.9	25.7		22.1	20.8	20.3	19.8		63.2	52.8	63.8	54.5	
40 ウエストニッパー		47.1	66.7	34.8	65.3	**	8.8	13.9	4.3	4.0	*	44.1	19.4	60.9	30.7	**
44 ボディスーツ		50.0	59.7	52.2	73.3		35.3	31.9	27.5	18.8		14.7	8.4	20.3	7.9	*
28 ボディシェイパー		16.2	15.3	11.6	16.8		33.8	43.1	36.2	37.6		50.0	41.7	52.2	45.6	
42 オールインワン		13.2	19.4	7.2	15.8		13.2	38.9	13.0	20.8	**	73.6	41.7	79.8	63.4	**
ブラジャー類	22 ガーターベルト	67.6	90.3	68.1	79.2		5.9	2.8	8.7	5.9		26.5	6.9	23.2	14.9	**
	14 フルカップブラ	61.8	77.8	69.6	82.2		16.2	15.3	11.6	9.9		22.0	6.9	18.8	7.9	**
	26 3/4カップブラ	39.7	69.4	55.1	68.3	*	45.6	26.4	37.7	24.8	*	14.7	4.2	7.2	6.9	
	23 ハーフカップブラ	75.0	84.7	71.0	87.1		13.2	11.1	15.9	9.9		11.8	4.2	13.1	3.0	*
	17 ロングブラ	82.4	94.4	79.7	91.1		8.8	1.4	4.3	3.0		8.8	4.2	16.0	5.9	*
	29 フロントホックブラ	85.3	93.1	75.4	91.1		4.4	2.8	13.0	4.0	*	10.3	4.1	11.6	4.9	
	5 スポーツブラ	78.0	83.4	87.0	85.1		10.3	8.3	10.1	8.9		11.7	8.3	2.9	6.0	
	12 ソフトブラ	32.4	51.4	47.8	58.4		38.2	36.1	27.5	27.7		29.4	12.5	24.7	13.9	*
	18 ストラップレスブラ	33.8	61.1	50.7	69.3	**	25.0	18.1	18.8	12.9		41.2	20.8	30.5	17.8	**
	2 チューブブラ	44.1	55.6	49.3	63.4		13.2	13.9	15.9	9.9		42.7	30.5	34.8	26.7	
スリッパ類	4 ビスチェ	33.8	80.6	33.3	48.5		5.9	4.2	8.6	10.9	**	60.3	15.2	58.1	40.6	**
	35 ラウンドスリッパ	5.9	19.4	11.6	13.9		36.8	34.7	29.0	31.7		57.3	45.9	59.4	54.4	
	16 シュミーズ	29.4	41.7	21.7	39.6	*	27.9	40.3	27.5	33.7		42.7	18.0	50.8	26.7	**
	36 ストラップスリッパ	19.1	31.9	23.2	31.7		20.6	27.8	15.9	18.8		60.3	40.3	60.9	49.5	
	37 プラスリッパ	82.4	81.9	58.0	84.2		8.8	5.6	7.2	5.9		8.8	12.5	34.8	9.9	**
	15 袖付きスリッパ	67.6	86.1	65.2	85.1		14.7	5.6	7.2	4.0	*	17.7	8.3	27.6	10.8	**
	46 切替えスリッパ	63.2	59.7	58.0	63.4		14.7	29.2	15.9	18.8		22.1	11.1	26.1	17.8	
	3 ウインタム	0	1.4	1.4	1.0		7.4	30.6	5.8	13.9	**	92.6	68.0	92.8	85.1	
	48 インナーシャツ	63.2	90.3	73.9	88.1		4.4	1.4	2.9	2.0		32.4	8.3	23.2	9.9	**
	47 キャミソール	50.0	80.6	55.1	78.2	*	22.1	11.1	21.7	15.8		27.9	8.3	23.2	6.0	**
ベチコート類	33 ベチコート	50.0	66.7	65.2	71.3		25.0	22.2	13.0	16.8		25.0	11.1	21.8	11.9	*
	30 キュロットベチコート	42.6	52.8	46.4	63.4		32.4	37.5	36.2	22.8		25.0	9.0	17.4	13.8	
	34 フレアパンティ	42.6	36.1	44.9	45.5		41.2	51.4	37.7	37.6		16.2	12.5	17.4	16.9	
	45 タップパンツ	1.5	2.8	1.4	4.0		25.0	47.2	20.3	18.8	**	73.5	50.0	78.3	77.2	
	21 フィットベチコート	32.4	63.9	30.4	55.4	**	22.1	20.8	26.1	23.8		45.5	15.3	43.5	20.8	**
	25 フィットベチコート股付き	27.9	63.9	33.3	54.5	**	30.9	25.0	36.2	22.8		41.2	11.1	30.5	22.7	**
	43 テディー	11.8	45.8	14.5	23.8	**	8.8	25.0	17.4	12.9	*	79.4	29.2	68.1	63.3	**
ソックス類	19 ボディブリファァ	1.5	11.1	0	7.9	**	32.4	33.3	24.6	25.7		66.1	55.6	75.4	66.4	
	24 ハイソックス	77.9	79.2	85.6	87.1		16.2	15.3	7.2	9.9		5.9	5.5	7.2	3.0	
	9 オーバーニーソックス	60.3	73.6	66.7	78.2		19.1	18.1	11.6	8.9		20.6	8.3	21.7	12.9	
10 レッグウォーマー	35.3	61.1	44.9	69.3	**	10.3	8.3	10.2	4.0		54.4	30.6	44.9	26.7	**	

表中のNO. は質問用紙での出問順序を示す

* 有意水準 (0.05) 5%で有意といえる

** 有意水準 (0.01) 1%で有意といえる

して高い値を示し、ビキニショーツで1%, ロングショーツで5%水準で、有意な差が認められた。

ガードル類では、ウエストニッパーとガーターベルトで2年生のB, Dグループが高い値となっており、それぞれ5%と1%の有意差が認められ、その他にスタンダードガードル、ハイ

ウエストショートガードル, ハイレグガードル, タミーガードル, ボディースーツ, オールインワンにおいても2年生が1年生より正解率がやや高いという結果であった。ガードル類については2年生の方が認識度が多少高いといえる。

ブラジャー類では, ほとんどで2年生の正解率が高くなっているが, 高校までで既に着用されていたと思われるスポーツブラについては, ほとんど4グループ間の差はなかった。

スリップでも非常に正解率の低いウインタムを除くと, 今まで着用の機会があったと考えられるブラスリップと切替えスリップ以外のものでは, やはり2年生が高い正解率を示した。

ペチコートでは, 6種の中でグループ間の差が最も大きく, 8品目中4品目で有意水準1%の有意な差が認められ, 2年生が高い値を示しており, ペチコートとキュロットペチコートでは, Dグループの方が高く, 次いでBグループとなり, フィットペチコートではBグループ, Dグループの順となっている。

ソックスでは, レッグウォーマーで1%の有意な差が認められ, 1・2年生の差が大きいといえる。

更に, ガーターベルト, ビスチェ, フィットペチコート, フィットペチコート(股付き), テディーの5品目については, Bグループの正解率が特に高く, 服装関係を専門に学んで2年目であることが影響しているものと推測できる。また, それら5品目にオールインワン, ウインタム, タップパンツを加えた8品目では, 未記入率もBグループでかなり小さくなっていた。

フレアージューツ, ロングガードル, オールインワン, ガーターベルト, フルカップブラ, ビスチェ, ブラスリップ, 袖付きスリップについては, 正解率において差が認められなかったが未記入率では1%水準で有意な差が認められた。

不正解率については, グループ間で有意な差が認められた品目は少なく, 1%水準ではオールインワンとウインタム, タップパンツの3品目のみであり, これらはBグループが他のグループと比べ高い値を示している。

これらのことから, Bグループの学生が服装関係を専門に学んでいるため, 多少下着に関する知識があるが, その知識はそれほど正確ではないと思われる。

要 約

女子大生において女性下着の認識状況を検討するために, 6種類50品目の下着を選出し, これらの名称と形態とを対応させる調査を行ったが, その結果次のようなことが明らかになった。

1. 女性下着50品目に対する正解率は, 専攻に関係なく1年生に比べて2年生の方が高い結果であったが, 未記入率では, 服装関係を専攻している学生が低い値を示し, ある程度の知識を持つと考えられた。

2. 正解率と未記入率において強い負の相関があるが, 正解率と不正解率ではほとんど関係は認められなかった。

3. それぞれの下着の知名度は, 高校まででも着用されていたブラジャー類, ソックス類では高いが, ペチコート類は低かった。50品目中知名度の高かったものは, 名称から形態がそのまま推定できるTバックショーツ, ロングブラ, フロントホックブラ, ハイレグガードル等と, 高校までで着用されていたスポーツブラ, ハイソックス, インナーシャツ等であった。逆に, かなり以前から市場に出ていたウインタムやタップパンツ, ラウンドスリップ, オールインワン等が女子大学生には既に知られていないものとなっているようであった。また, 市場に新しく出現したタンガやボディーブリーパー, ボディーシェイパーなども同様に知名度がかなり低

いといえる。

4. 女子大生は、下着についてある程度の認識はもっているが、正確ではないものも多く、特にフレアーショーツ、フレアーパンティー、タンガの3品目を間違えて認識している学生がかなり多かった。また、スタンダードやビキニの意味、ブラジャーのカップの大きさ等が認識できていない学生も多く見られた。

5. ガーターベルト、ビスチェ、フィットペチコート、オールインワン、ウインタム、トップソックスの認識度が服装関係の2年生で僅かによい結果であり、大学での専攻による差が多少見られた。

以上のように、女子大生の下着に対する認識は、あいまいな部分がかかなり見受けられた。また、1年生よりも2年生の方が認識の程度は高く、2年間の専攻の差も僅かではあるが認められた。しかし、ライフスタイルが目覚ましく変化し情報が溢れている現在にあって、今後、ますますその量は増加していくものと考えられる。私たちにとって、正しい消費者教育がより一層必要であることを痛感した。

参 考 文 献

- 1) 三田村和彦：女性下着の50年史，1月6日，日本繊維新聞（1993）
- 2) 被服文化協会（編）：服装大百科事典上巻，410～415，文化出版局（1981）
- 3) 田中千代：新・田中千代服飾事典，412～423，同文書院（1991）
- 4) 下田満智子：繊維製品消費科学，**23**，413～419（1982）
- 5) 龍多美子：ザ・ボディ，**1**，43～49（1994）